

サーバス北海道支部会報

2010,3,20 発行

発行人 支部長 吉崎 収二

はじめに

2009年度は、小生にとりまして長年のサーバス活動の中でも珍しい1年であったといえると思います。それは、新型インフルエンザのパンデミックによりメンバーの交流が極めて低調であったということです。ある意味では世界中のメンバーが適切に行動したといえると思います。このことについて特に制限や禁止などをしなくてもごく当たり前のようによこ自粛傾向が現れたことは大変に結構なことであったと思います。その意味でこの組織は誠に常識的なグループであると思います。今後もこのような世界的な危機状態が起きたときには是非ともそのような力を発揮して世界平和のために力を合わせられることを一層期待したいと思いますし、自分自身も何らかの協力が出来ればよいと思います。今後はこのような状況が起きないことを祈念するとともに交流がより活発になり相互理解が進展することを期待いたします。

今回は榎本会員から寄せられましたサーバス旅行記を紹介いたします。

初めてのホームステイ

1994年入会 A.H

私がサーバスに入会してから二人のゲストを迎え、ゲストの心構えが理解できた頃の1995年12月に、妻と一緒にオーストラリアとニュージーランドの旅行へ出掛けました。

シドニーのホテルに一泊した後、シドニー西方約30kmのブラックタウンのサーバスの会員A氏とAR氏の家にホームステイするために、列車（ディーゼル）でシドニー中央駅を出発しました。時刻表で到着時刻を調べ、ホストに電話連絡してから乗車しましたが、途中で雨が降り出し、雷も鳴って大雨になりました。このため、列車が2回も臨時停車して、到着予定時間がさっぱり分からなくなり、乗客に尋ねると「放送があるから。」という返事です。しかし、その放送がさっぱりありません。不安になっていたら、ブラックタウンは少し大きい駅なので、放送がありました。その乗客も目で合図してくれたので、安心して下車しました。ところが、ホストファミリーが見えないので、電話をしてみると、「列車が遅れたので、一度自宅へ帰ってきた。すぐ、駅へ迎えに行く。」ということで、駅で待つこと10分、A氏が車でやってきました。

その夜は、ホスト宅で夕食。食事が終わってから、妻が「皿洗いを手伝いましょうか。」と話したら、A氏が「Sure!!」と力強く言って、皿洗い機を見せてくれました。オーストラリアでは多くの家庭が皿洗い機を使っているということでした。

翌日、朝食後、庭と付近を散歩しながら、A氏が自分たちの人生を話してくれました。A氏とAR氏は、別々に1946年にオランダから移住して、別々の配偶者と結婚していました。しかし、数年前にそれぞれの配偶者が亡くなったので、以前からオランダ会で知り合っていたので、一緒に住み始めたそうです。それぞれの家族もよく理解していて、お互いの子供たちを訪問し、故郷のオランダへ旅行もしているそうです。

一休み後、S氏の運転で出かけました。途中、銀行強盗のパトカーとのカーチェイスに出会い、警官が犯人を地面に伏せて、ピストルを突き付けているのを見ました。A氏に「こんなことは日本では見られない。」と言うと、彼女は「銀行強盗は、シドニーでは、日常茶飯事よ！」というので、ビックリ。でも、それは冗談で、シドニーでもあまり見かけないそうです。

その夜は、ラグビークラブのレストランで夕食。A氏とAR氏の写真を写していると、隣席の中年夫婦が冗談半分に「私たちも写して欲しい。」というので、写真を写してあげると大喜び。帰国後写真を送ってあげました。

シドニーからニュージーランドのクライストチャーチへのフライトは、航空管制官のストで遅れたうえに、飛行機はアリタリア航空。どこへ行くのかと不安になりました。その不安がクライストチャーチの上空での中。地上が見えるようになって、そろそろ着陸という時に4回もエアポケットに落ちました。体がフワリと浮いて、スーと落ちる。オーバーヘッドの荷物入れのカバーがバタバタ開く。食器類が通路にザーと散らかる。ようやく、着陸。高齢の男性が立ち上がれなくて、スチュワーデスに抱えられていました。隣席の中国系女性は、その最中トイレにいたので、席へ戻って嘔吐を繰り返していました。スチュワーデスも腕をぶつけたようで、顔をしかめていました。

ホストファミリーのJ氏が「Mr. ENOMOTO」と書いたプラカードを頭上に掲げて出迎えてくれました。自己紹介後、すぐに彼女から「エアポケットは大丈夫だった？」聞かれました。テレビのニュースで知ったというから、かなり大きな出来事だったようです。

彼女の家は、郊外の丘を越えたガバナーズベイという風光明美な小高い所にあり、夫はドイツ系の移民で、60歳を過ぎたので、農場を手放してこの中古の家を買って住んでいる。2泊後、札幌での英語の先生の友人R氏宅に一泊し、クイーンズタウン、テアナウ、ミルフォードサウンドを旅行して、J氏宅にもう一泊して、シドニーへ向かいました。私がR氏とJ氏を紹介したらすぐに、あたかも旧知のように親しく話し始めました。その事を尋ねると、ニュージーランドは小さい国（人口350万人）なので、皆が仲良い国民性を持っているそうです。私達夫婦にとって、この旅行は初めての海外旅行で、しかもサーバスの会員宅にホームステイをするという、初めての体験続きでした。

サーバスの会員ということが、初対面でも長い友人のように感じて、すぐに親しくなり、個人的なことまで話すようになりました。外見や文化が異なっても、人の心は同じだなと感じる旅行でした。

2010年度支部会議について

- ・ 日 時 7月24日(土) 11時 ~ 14時ごろまで
- ・ 会 場 札幌市内(会場は未定)
- ・ 内 容
 - ・ 国内会議報告
 - ・ メンバーの活動の交流
 - ・ その他
- ・ 詳細は後日ご案内いたしますので、予め予定を空けておいていただければ幸いです。

会費振込先について

下記の会費の振込先によりしくお願いいたします。なお従来は振り込み料が無料でしたが、有料になりましたので、悪しからずご了解ください。
なお支部会議に出席される方は当日ご持参ください。

※念のために年会費は、3000円です。入会希望の方がおられましたら是非お知らせください。